BUFFALO

2.5 インチ内蔵 SSD

SSD-NS/M シリーズ

ユーザーズマニュアル

取り付け......................................2 1

OS のインストール........................4 2

付録..6 3

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意していただきたい事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
A: フロッピードライブ、C: ハードディスク

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・文中 < > で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。(例)<Enter>

目次

1 取り付け......2

取り付けの前に必ずお読みください......2
取り付け......3

2 OS のインストール......4

OS をインストールするときは......4
ご注意......4
パソコン付属の CD-ROM からインストールする......5
Windows のインストール......5
Mac OS のインストール......5

3 付録......6

バックアップ......6
バックアップの必要性......6
バックアップ用のメディア......6
バックアップデータの復元（リストア）......6
メンテナンス（Windows のみ）......6
ハードディスクや本製品のエラーチェック（スキャンディスク）......6
便利なソフトウェア（Windows のみ）......7
TurboPC......7
TurboCopy......7
Backup Utility......7
RAMDISK ユーティリティ......7
Buffalo Tools ランチャー......7
イジェクトユーティリティー......7

1 取り付け

本製品をパソコンに取り付ける手順の例を説明しています。

取り付け作業を行うと､パソコンメーカーの保証が受けられなくなることがあります。
本製品をパソコンに取り付ける場合､パソコンを分解する必要があります。パソコンメーカーによっては、パソコンを分解すると保証が受けられなくなくことがありますので、あらかじめご了承ください。

取り付けの前に必ずお読みください

- **パソコンや本製品は精密機器です。必ず別紙「安全にお使いいただくために必ずお守りください」をお読みください。**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にする前に、すべてのアプリケーションを終了し、ハードディスクなどに記録されている大切なデータを、外付ハードディスクや他のメディア（DVD-R など）に保存してください。**
- **バックアップ（リカバリー）ディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコン本体のマニュアルを参照してバックアップ（リカバリー）ディスクを作成してください。**
- **作業を行うときは、パソコン本体のマニュアルに記載されている注意事項を必ずお守りください。**
- **取り付け作業を行う前に、パソコンの電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を必ず外してください。【パソコン本体のマニュアルを参照】**
  電源ケーブルや AC アダプター､バッテリー等を外さずに取り付け作業を行うと、感電する恐れがあります。
- **本製品の取り付け作業でパソコン本体や本製品を破損 / 故障した場合、パソコンメーカーや弊社では一切保証致しかねます。**
  本製品の取り付け作業は、ご自身の責任で行ってください。
- **弊社では、パソコン本体（本製品を取り付けたパソコンを含む）に対する保証は致しかねます。**
- **静電気による破損を防ぐため、本製品やパソコン本体に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**
  人体などからの静電気は、パソコン本体や本製品を破損、またはデータを消失させる恐れがあります。
- **パソコン本体の仕様によっては、本製品の容量を全て使用できないことがあります。**
  パソコンの仕様によって、使用できる容量に制限があることがあります。お使いのパソコンが本製品の容量に対応しているかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。
- **次の物を用意してください。**
  ・パソコンと周辺機器のマニュアル
  ・ドライバーなどの工具

取り付け

本製品は、パソコン（DOS/V、Macintosh）に取り付けることができます。パソコン本体のマニュアルを参照して取り付けてください。また、マニュアル「はじめにお読みください」でも取り付け手順の例を記載していますので、参考にしてください。

- **取り付け手順は、お使いのパソコンによって異なります。**
  お使いのパソコンによっては手順が異なりますので、あらかじめご了承ください。なお、マニュアル「はじめにお読みください」の記載内容に従って作業を行いパソコンや本製品が破損 / 故障した場合であっても、弊社は一切の保証を致しかねます。
- **作業するときは、必ずパソコン本体のマニュアルを参照してください。**
- **パソコンメーカーおよび弊社への取り付け手順に関するお問い合わせはご遠慮ください。**
  弊社では、パソコンへの取り付け方法に関するお問い合わせを承っておりません。また、パソコンメーカーへのお問い合わせもご遠慮ください。

2 OS のインストール

本製品に OS をインストールする手順を説明します。

OS をインストールするときは

パソコンに取り付けた本製品に OS をインストールするときに参照してください。

メモ
- **詳しい手順は OS のマニュアル、またはパソコン本体のマニュアルを参照してください。**
- **本製品を起動ドライブにしない場合は、OS をインストールする必要はありません。**

ご注意

OS をインストールするときは、以下のことにご注意ください。

● **本書に記載されているインストール手順は一例です。必ず使用しているパソコンと OS のマニュアルを参照してください。**

● **OS をインストールやフォーマットする前に、ハードディスクや本製品の環境をもう一度確認してください。**
OS のインストールやフォーマットをすると、選択したドライブ内のデータはすべて消去されます。誤って大切なデータやプログラムを消去してしまうことのないように、フォーマットするドライブのドライブ名を必ず確認しておいてください。

● **OS のインストールやフォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、パソコンを再起動しないでください。**
ディスクが破損するおそれがあります。また、その後の動作に関しても保証できませんのでご注意ください。

● **フォーマット時の制限について**
Windows では OS のインストール中に本製品をフォーマットする必要があります。画面の指示に従ってフォーマットしてください。

次のページへ続く

パソコン付属の CD-ROM からインストールする

インストール手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

メモ OS をインストールした後、本製品内に未使用領域がある場合は、パーティションを作成し、フォーマットしてください。

Windows のインストール

インストール手順は Windows のマニュアルを参照してください。インストール中にフォーマットが実行されるので、画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

インストール手順

Windows を新規にインストールする場合の一般的な手順は、次のとおりです 。

本製品をパソコンに取り付ける
▼
Windows の起動ディスクから起動する
▼
Windows をインストールする【各 OS のマニュアルを参照】
▼
パソコンを再起動する

Mac OS のインストール

Mac のインストール手順は、次のとおりです。

本製品を Mac に取り付ける
▼
Mac のインストールディスクから起動する （Mac 起動時に「C」ボタンを押し続けて起動してください）
▼
インストール先のドライブを選択 （選択できるドライブがない場合は、インストール先のドライブ選択画面にある「ディスクユーティリティー」で、GPT パーティションを作成してください）
▼
Mac をインストールする
▼
Mac がインストールされ、正常に起動してきたらインストール完了です

3 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクや本製品などに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクや本製品などには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

⚠注意 ハードディスクや本製品などを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・ネットワーク (LAN) サーバー　・増設ハードディスク　・Blu-ray Disc

・DVD-R/RW　・DVD+R/RW　・DVD-RAM　・CD-R/RW　・フロッピーディスク

・光磁気ディスク（MO）

大容量ハードディスクや本製品などのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限り容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。
増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクや本製品などに復元することをリストアといいます。リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認してください。

メンテナンス（Windows のみ）

Windows 付属のツールを使用したハードディスクや本製品のメンテナンスについて説明します。

ハードディスクや本製品のエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には、ハードディスクや本製品のエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクや本製品を安全に使用するために、ハードディスクや本製品を定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。

便利なソフトウェア（Windows のみ）

以下のホームページから Windows 用の便利なソフトウェアをダウンロードできます。

http://buffalo.jp/download/driver/hd/ssd-ns_m.html

ダウンロードできるソフトウェアは、以下のソフトウェアです。

TurboPC

TurboPC は、書き込みキャッシュを使用し、転送速度を高速化します。

TurboCopy

TurboCopy は、コピー / 移動するファイルをひとまとめに転送して効率化します。

Backup Utility

Backup Utility は、バックアップソフトウェアです。バックアップするドライブを指定しておくことで、一定間隔または指定時刻に自動でバックアップを行えます。

RAMDISK ユーティリティ

パソコンに搭載されているメモリーの領域を仮想ハードディスク「RAMDISK」として使用するソフトウェアです。RAMDISK は､コンピュータ（マイコンピュータ）に「BFRD-DRIVE」（ハードディスク）として認識され、データの読み書きを行えます。
ハードディスクよりも高速なメモリーの特性を活かし、データの読み込みや書き込みが快適に行えます。

Buffalo Tools ランチャー

Buffalo Tools ランチャーは、簡単にソフトウェアを起動させるためのランチャーです。Buffalo Tools ランチャーにあるアイコンをクリックするだけでソフトウェアやファイルを起動することができます。

イジェクトユーティリティー

イジェクトユーティリティーは、USB 接続機器（USB メモリー、USB ハードディスクなど）をパソコンから安全に取り外すためのユーティリティーです。機器（ドライブ）ごとにアイコンを変更できますので、取り外す機器が分かりやすく、簡単に取り外しができるようになります。

ハードディスクや本製品の破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスクや本製品上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスクや本製品上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクや本製品に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

Acronis DriveCleanser（Acronis 社製　アクロニス・ジャパン株式会社）

詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

SSD-NS/M シリーズ ユーザーズマニュアル
2010 年 8 月 10 日 初版発行
発行　　株式会社バッファロー